

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【中・中等教育学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

さいたま市の中学校・中等教育学校 第2学年の回答状況と自分の回答状況

質問項目の内、さいたま市が重視している10項目を抜粋して掲載しています。

将来に関する意識	自分の回答	市の平均
① 将来の夢や目標をもっている。	%	◎
学校生活		
② 学校に行くのは楽しい。	%	
自尊意識		
③ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。	%	◎
④ 市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。		
⑤ 朝食を毎日食べている。	%	
⑥ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	◎
⑦ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	
学びに向かう力		
⑧ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	%	
読書習慣		
⑨ 読書が好き。		
キャリア教育		
⑩ 学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学んだこと、自分の将来とのつながりを考えている。		

表の見方

○さいたま市の回答状況
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」や「している」「どちらかといえばしている」など）を選択した中学校・中等教育学校第2学年の生徒の割合（%）を示しています。

○自分の回答
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直していこうと思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

保護者より

「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

さいたま市教育委員会

令和6年度 さいたま市学習状況調査【中学校・中等教育学校 第2学年】

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。
分母は問題数を示しています。
※ここでは、国語は、全23問のうち、市の平均正答数は〇〇問であることを示しています。

国語	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/23問
言葉の特徴や使い方 (6問)				
読むこと (6問)				
書くこと (4問)				
話すこと・聞くこと (4問)				
自分の正答率	%			
市の平均正答率	%			
前回の自分の正答率	%			
領域等の正答率を示しています。お子さんの正答率と市の平均正答率を示しています。第2学年のお子さんは、昨年の自分の正答率も示されています。				
社会	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/25問
世界と日本の地域構成 (2問)				
近世までの日本とアジア (8問)				
世界の様々な地域 (5問)				
歴史との対話 (3問)				
日本の様々な地域 (7問)				
自分の正答率	%			
市の平均正答率	%			
前回の自分の正答率	%			
理科	自分の正答数	問	市の平均正答数	問/25問
エネルギー (6問)				
地球空間 (6問)				
粒子 (6問)				
生命 (6問)				
自分の正答率	%			
市の平均正答率	%			
前回の自分の正答率	%			

- 正答数
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率
さいたま市の生徒が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率
あなたが、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。

【令和6年度発行】
さいたま市立教育研究所



さいたま市教育委員会

名前

「学力に関する調査」の設問ごとの解答状況等を確認することができます。
保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和6年度 さいたま市学習状況調査【中学校・中等教育学校 第2学年】

調査結果表

2年

名前

国語

領域等	大問	小問	平均 正答率	自分	設問のねらい
読むこと	1	1			自分の考えを分かりやすく伝えるために、目的に応じて必要な資料を用いながら話すことができるかどうかをみる。
		2			話し合いを円滑に進行するために、互いの立場や考えを尊重しながら話し合うことができるかどうかをみる。
		3			設問ごとの市の平均正答率を示しています。
		4			
		5			
書くこと	2	1A			根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。
		1B			根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。
		3			説明や具体例などの表現の工夫とその効果などについて、文章のよい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる。
		4			読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。
読むこと	3	1			接続する語句の役割について理解し、文章の構造を捉えることができるかどうかをみる。
		2			文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。
		3Ⅰ			目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。
		3Ⅱ			目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。
		4			目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。
言葉の特徴や使い方を 我が国の言語文化	4	1(1)			文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。(敬)
		1(2)			文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。(推し)
		2 主語			主語と述語との関係について理解しているかどうかをみる。
		2 述語			主語と述語との関係について理解しているかどうかをみる。
我が国の言語文化	3(1)	①			文語のきまりを理解しているかどうかをみる。(いひければ)
		②			文語のきまりを理解しているかどうかをみる。(かへしむ)
		3(2)			現代語訳を手掛かりに作品を読むことを通して、登場人物の心情などを想像することができるかどうかをみる。
		3(3)			漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解しているかどうかをみる。

数学

領域	大問	小問	平均 正答率	自分	設問のねらい
数と式	1	(1)			整式の加法と減法の計算をすることができる。
		(2)			二元一次方程式の解の意味を理解している。
		(1)			与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。
		(2)			統合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。
関数	2	(1)			連立方程式を解く過程で、事象に即して解釈することができる。
		(2)			一次関数の式を理解している。
		(1)			一次関数の変化の割合の意味を理解している。
		(2)			グラフ上のPのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。
図形	3	(1)			垂線の作図の方法を理解している。
		(2)			投影図から考えられる立体を判断することができる。
		(1)			空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。
		(2)			既習の図形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。
データの活用	4	(1)			多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。
		(2)			ヒストグラムから必要な情報を読み取ることができる。
		(1)			相対度数、中央値、最頻値の意味を理解している。
		(2)			与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。

社会

領域	大問	小問	平均 正答率	自分	設問のねらい
世界の地域と日本	1	(1)			地球儀で対蹠点を探し、緯度や経度の仕組みや性質について考察することができる。
		(2)			日本と世界各地との位置関係に着目し、世界各地との時差について考察することができる。
		(3)			気候とそれに関係する住居から、その場所における生活の特色を捉え、自然的条件との関係について考察することができる。
		(1)			複数の資料を基に、アジア州で見られる地球の課題を、地域的特色と関連付けて考察することができる。
世界の様々な地域	2	(2)			複数の資料を基に、ヨーロッパ州で見られる地球の課題を、地域的特色と関連付けて考察することができる。
		(3)			複数の資料を基に、アフリカ州で見られる地球の課題を、地域的特色と関連付けて考察することができる。
		(4)			北アメリカ州で見られる地球の課題を地域的特色と関連付けて考察するために、必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。
		(1)			少子高齢化の課題を表した資料を基に、日本の人口に関する特色を理解している。
日本の様々な地域	3	(2)			日本と世界との人の往来を表した資料から、日本と世界との結び付きの特色を読み取ることができる。
		(3)			国内の産業の動向を表した資料を基に、日本の産業に関する特色を理解している。
		(4)(1)			日本の地形の特色を表した資料を基に、日本の自然環境の特色を理解している。
		(5)			不安定な大地上に位置していることを読み取ることができる。
歴史との対話	4	(6)			資料から、日本の資源・エネルギー利用の現状を読み取ることができる。
		(1)			時代区分の意味や意義についての基本的な内容を正しく理解している。
		(2)			小学校での学習を踏まえて、文化財と時代区分との関わりについて考察することができる。
		(3)			年代の表し方を理解しており、資料から歴史に関わる情報を読み取ることができる。
近世までの日本とアジア	5	(1)			東アジアにおける交流に着目して、中世から近世にかけて日本の社会が変化した様子を考察することができる。
		(2)			武士の政治への進出と展開に着目して、中世から近世にかけて日本の社会が変化した様子を考察することができる。
		(3)			文化の特色に着目して、中世から近世にかけて日本の社会が変化した様子を考察することができる。
		(1)			琉球の国際的な役割に関する資料を基に、中世の日本と東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。
近世までの日本とアジア	6	(2)			藩内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立に関する資料を基に、民衆の成長を背景とした社会が生まれたことを理解している。
		(3)			豊臣による統一事業に関する資料を基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。
		(4)			江戸幕府の成立と大名統制に関する資料を基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。
		(5)			近世の日本において、産業や交通が著しく発達したことを理解している。

理科

領域	大問	小問	平均 正答率	自分	設問のねらい
地球	1	(1)			気圧は高度によって変化し、空気の重さと関連付けて理解している。
		(2)			前線の通過に伴う天気の変化を理解している。
		(3)			地上の気象要素と上空の気象要素が異なることを理解している。
		(1)			代表的な示準化石とその地質年代について理解している。
生命	2	(2)			示相化石を理解している。
		(3)			石灰岩の特徴について理解している。
		(4)			各地点の柱状図から、地層のできた順番を推測することができる。
		(1)			消化について理解している。
粒子	3	(2)			ベネジクト液の反応について理解している。
		(3)			実験1と2の結果から、唾液のはたらきを導くことができる。
		(1)			実験の目的を理解し、暗室に置く理由を答えることができる。
		(2)			対照実験の結果から、設問の答えを判断する箇所を見いだすことができる。
エネルギー	4	(3)			条件を変えた際に、結果が変わる箇所を答えることができる。
		(1)			酸化銅の色を理解している。
		(2)			酸化銅の化学式を理解している。
		(3)			表から、銅と酸素が結びつく質量の比を求めることができる。
エネルギー	5	(1)			化学変化のときに熱が発生する化学変化について理解している。
		(2)			鉄と硫黄が結びつく化学変化を化学反応式で表すことができる。
		(3)			2種類以上の元素が結びついた物質について理解している。
エネルギー	6	(1)			スクリーンに映る像のでき方を理解している。
		(2)			スクリーンに映った像の名称を理解している。
		(3)			凸レンズによってできる実像の位置や大きさについての規則性を理解している。
		(1)			音の高低、大小の違いを判別できる。
エネルギー	7	(2)			音の波の形から、音の大小に関わる振幅を理解している。
		(3)			音の伝わり方を理解している。



- 他の同じような問題も解くことができるかどうか、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
- × - 問題をよく読んで、もう一度解いてみましょう。問題を解くだけでなく、見直しで行いましょう。
- × - もう一度、学習内容をふり返ってみましょう。復習した後に問題を解きなおして、理解できているか確かめましょう。

国語でがんばりたいこと

数学でがんばりたいこと

社会でがんばりたいこと

理科でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。